

平成 22 年度 長野市産業振興審議会 第 3 回 観光振興専門分科会

日 時 平成 22 年 12 月 20 日 (月) 午後 2 ～ 3 時半
場 所 長野市役所 職員会館 3 階 会議室
出席者 委員 (15 名中 12 名出席、3 名欠席)
事務局 5 名

【 質疑応答部分 議事録 】

(1) 長野市産業振興ビジョンの中間評価 (集計結果) について

[委員]

第 4 節の「自然環境保護に配慮した体験交流観光と、歩いて楽しむ観光の推進」という中で、遊歩道施設等改修事業に「変更あり」とありますが、自然環境の中で里山にあるような遊歩道と捉えれば、トレッキングコース・遊歩道整備事業と統括していいと思うのですが、街中観光の中で、街歩きルート、たぶんこれから主力になってくると思われるのでそういった整備も必要なのかなど、そこはご検討いただければと思います。

[市]

この項目の中では自然環境に配慮したものとなっておりますが、街中の整備ということになれば、里山で整備するのは、また違った意味も出てきて、街中には歩く場所はあるのですが、そこに案内をつけていくような整備の手法も変わってくると思われま。それはまた別のところで考えていければと思っております。

[委員]

第 5 節ですが、CS 調査を過去にやったことがあるのか教えていただけますか。

[市]

御開帳の時にはアンケートを取らせていただいております。長野経済研究所が CS 調査として実施しております。

[委員]

第 2 節のところ、ホームページのアクセス数ですが、あまり目標に届いていないということで、ホームページを新しくするというようなことをお考えのようですけど、ホームページというものは形だけ整えてもアクセス数増には繋がらないので、ブログ形式で情報を更新するような内容も盛り込んで、ホームページを見直していただければと思います。

[市]

観光となりますと、やはり行政のホームページというものは決まったもの、そこから抜け出せないものがありますので、リンク先として観光協会やながの観光コンベンションビューローがありますので、そこでそれぞれの広告へ繋がり、委員さんがおっしゃったようなブログ形式もそこで情報発信していければと思います。観光課のホームページもいろいろなご意見をいただく中で、見直しを図っていきたいと考えております。

[委員]

インバウンド、海外からの誘客を進める上で、ホームページの外国語対応の充実は重要であります。英語・中国語・韓国語を含めて、非常にアクセスが増えてきており、海外の人達が見ることができるホームページを是非ご検討いただければと思います。

[市]

それにつきましても、最低でも 3 カ国語に対応できるように進めていきたいと考えております。今、観光課が作成しているパンフレットも英語・中国語・韓国語の 3 カ国語となっております。

(2) 次期観光振興計画の策定状況について

[委員]

金沢までの北陸新幹線延伸について計画の中でどのように盛り込まれていくのでしょうか。

[市]

今、次期計画の中で、具体的に現行プランのイヤーキャンペーンに替わる観光キャンペーンをどのような形で行うかなど、アクションプランという計画の中でどのように策定していくか、検討しているところであります。

そんな中で、今までの計画は地域にスポットをあてて、地域のブランド化を図ってきましたが、次期計画は、今までと同じように地域イヤーキャンペーンを行うのではなく、もっと違う方向でやったらいいのではないかという意見もあり検討を進めております。次期計画の5年間には善光寺の御開帳や北陸新幹線の金沢駅延伸ということがありますので、これらについては、それぞれの集中キャンペーンが必要だと考えているところです。

[委員]

沿線観光資源ということで、沿線という話の中で金沢、富山、上越が提示されましたが、鉄道事業者の方と連携して、もう少し広域型、いわゆる北の方だけでなく、首都圏や関西圏を含めた、そういったところとどうやって手を結びながら、観光としての商品を作り上げていき提案していくが大事になってくると思います。広域型観光への提言、例えば上田と組むとか、軽井沢と組むとか、ちょっと離れたところとも手を組んで取り組むことも必要になってきているのかと思います。

テーマ型で観光をつなぐ、例えば童謡の作品を繋いで、広域観光を楽しんでいただけるようなそんな広域観光もご検討いただければと思います。

[委員]

市民モニターの意見交換会が行われたということですが、第2回目で「長野市観光の目指す姿」を討議したとなっておりますが、その内容について教えていただけますでしょうか。

[市]

今後、調査報告等を取りまとめていく中で、その時の会議内容をまとめたものは、順次、今後の分科会の中で報告させていただければと考えております。

(3) その他

[委員]

信州DCの状況について、お聞かせていただけますでしょうか。

[市]

10月から始まりました信州DCの長野市の状況ですが、10・11月の動向の中での数字ですが、主な観光地である善光寺と戸隠と松代について、前年度対比ですが、善光寺（内陣参拝 16.4%増、善光寺駐車場 51.8%増）、戸隠（55.2%増）、松代（21.9%増）となっております

戸隠については周辺にある何カ所かの施設の集計結果です。奥社についてはデータがないので詳細はわかりませんが、CM効果も影響して、かなり多くの方が来られていたと思います。

松代については真田宝物館やその他文化財施設の集計結果です。

[委員]

信州DC、今回のテーマは「未知を歩こう」だったので、全く宿泊に結びついていなかったのかという感じを受けたのと、今回のDCではパワースポットとリンクした部分があったので、パワースポットブームとリンクした場所ではかなりの効果があったと思います。

[委員]

信州DCについては、アクセスのいいところ、もしくはアクセス整備を行ったところは、きちんと人が入っていたと思います。そうでないところが大変厳しい状況だったと思います。

[委員]

信州DCを上手く活用して、それぞれの地域でいろいろな取り組みがあったかと思いますが、やはり、来ていただいたお客様に消費額を増やしていただくための取組が大事だったと思います。

[委員]

JR で来られるお客さんは電車・バスを利用して善光寺へ行かれたりしたと思いますが、1,000 円効果もあって高速道路を利用して車で来られた方は戸隠に行かれたり、宿泊場所は周辺の温泉街へ行かれたり、DCであっても、それぞれ交通手段によって違いが出ていたと思います。

[委員]

長野のポテンシャルは高いが、今、本当に努力しなければいけないと思います。信州、長野県というのは日本の5大観光地と言われて、新都・東京、古都・京都、大地の北海道、海の沖縄、山の信州と。

でも今ブランド力を調査すると10番目になっています。観光イメージはいいのですがブランド力が落ちているのでここは頑張らないといけないと思います。

[市]

本日は、いろいろとご審議をいただきまして本当にありがとうございました。